

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	株式会社千広				
事業所の名称 (施設名)	ふあみさぼこ慈眼寺2号館				
事業所番号	4650102868				
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島県鹿児島市谷山中央六丁目5番7号				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 28 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓2にURLを記載
	2. 内容	https://famisapo-coco.com/
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	山下 ゆかり
連絡先 (TEL)	090-5933-7604

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふあみさぼこ慈眼寺2号館		
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日		令和8年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和8年1月16日		令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の資質向上の為の取り組み	ZOOM研修を通じて療育の質の向上を目的とし、勉強会の開催を行っている。	勉強会を通して学びの場を月に1回実施している為、インプットで終わらずアウトプットできるよう個々のスキル向上を行う。
2	環境・体制整備	毎日10分間、全社員で環境整備を行っている。破損している物や教材整理などの確認を含め、ご利用者が安心して安全に過ごせる環境を点検しながら整備している。	感染症対策として、月に数回の頻度で玩具等の消毒を行っているが、予防対策として週に1回の頻度で消毒ができるよう対応する。
3	適切な支援の提供	ご利用者一人ひとりとの時間を作り、気持ちを引き出しながら何を目標として頑張っていくのか擦り合わせを行っている。また、満足度向上を目指し「また行きたい」と感じて頂けるように丁寧に対応している。	頑張っている過程をその場で称賛しながら自己肯定感を高めていけるよう、言葉の掛け方を意識し丁寧に寄り添いながら関わっていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	●関係機関や保護者との連携 地域との交流および保護者同士で交流する機会を設ける等の開催が少ない為、関係機関を巻き込みながら関わることが手薄になっている。	令和7年度に保護者参加型のイベント実施済。数名の方にご参加頂いた為、継続実施が現状できていない為、色々な活動を親子一緒に取り組み、子どもたちの成長発達へ気づくことができるよう企画を行っていく。	地域で安心して過ごすことができるよう、親子療育または親子参加型のイベント実施、地域の方の参加イベントなどを通じて地域交流の場を設け地域へ貢献ができるよう企画を行っていく。
2	●業務改善 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に沿った動きが低迷している。	業務担当の割り振りは出来ていたが、可視化できていなかった為、目で見分ける情報をお互いが共通認識を図るとより効率的に取り組めると思われる。	・業務担当の可視化 ・業務遂行に当たっての時間設定 ・業務進捗の共有(誰が何をいつまでに)
3	●非常時の対応 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況確認の徹底	朝礼の際に当日来所されるご利用者のケースについて共有を行っているが当日不在していた社員に対しては、後日共有することとしている為、タイムロスが発生している。	定期的に通院されている方やお薬の服薬種類や量に変動が生じた際は、申し送りノート等を活用し、タイムリーに共有ができるよう努める。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふあみさぼこ慈眼寺2号館		公表日 令和8年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		高学年向けの事業所でもある為、ご利用者の発達状況や特性に合わせて環境整備を行っています。 運動の活動をする際には公園または他事業所へ行き身体を大きく動かすことができるよう環境を整えています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人員以上の職員を配置し、より手厚い支援へ繋がるよう心掛けています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		必要に応じて視覚支援を掲示しながら見て分かる情報をより明確にし、配慮しています。	従たる事業所では室内に段差がある為、転倒などの防止をする為の見守りや配慮が必要です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日環境整備を行い、安心安全に受け入れができるよう整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動によって、個別の部屋を使用しながら集中して活動へ参加ができる構造となっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月職員会議を設け、業務改善にかかる話し合いをもとに職員が主体となって取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年自己評価表を配布し、ご意見やご要望なども併せて確認し把握に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月、職員面談を通じて意見などを把握する機会を設けて改善へ繋げております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	令和8年2月の時点では、取り組んでおりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に社外・社内研修の場を設け、資質向上や知識を深める為に計画しております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページへ支援プログラムの公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリング時期に、ご利用者へアセスメントを行い計画が立てられるよう、取り組んでおります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員の意見なども踏まえ、話し合いをした上で計画の策定しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		常日頃、情報収集がしやすいようにファイルにて保管しており、共有しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アプリでの管理や弊社指定のアセスメントツールを使用し、活用しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域に合わせた計画及び、支援を提供しております。 常日頃、ガイドラインに則ったサービス提供が設定できるよう、心掛けております。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月、担当制でプログラムを考案しサービス提供を行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		曜日に合わせて幅広い活動を提供しており、5領域を含んだ活動内容を行っております。	将来像を見据えた活動内容を考案しておりますが、情報整理をする為の時間確保が今後も必要と感じています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動や個別活動は毎週取り入れており、ご利用者の発達状況に合わせたプログラムを提供しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、朝礼・昼礼・終礼を行い支援内容の共有や役割分担を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		極力、その日にあった出来事などは全体で共有するようにしております。	送迎の戻り時間次第では、振り返りをする時間が限られている為、翌日に共有することがあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		アプリを通じて記録を残し、より良い療育へ繋がられるようにしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画書の更新時期に合わせて、モニタリングやアセスメントの振り返りを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		曜日に合わせて幅広い活動を提供しており、5領域を含んだ活動内容を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己選択ができる場面を支援時間中に設けています。自己決定や、決定したことを伝えるためのサポート等行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が参画しております。必要に応じて担当職員も同席しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		特定のご利用者様に関して、連携体制を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		全てのご利用者が通学する学校等と、必要に応じて連絡調整を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			書面上での情報共有は行っていますが、対面での情報共有や相互理解には至っておりません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		対象者がいる場合は、移行先の事業所にて情報共有を行うことができております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			機会は設けておりませんが、機会がありましたら研修や助言など受けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			令和8年2月現在、交流する機会は設けておりませんが、いつでも対応ができる体制は整えております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		案内通知を受けた際には、情報把握に努めておりますが、都合が合わない場合は参加をしております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		アプリを通じて情報発信をしたり、保護者面談を通じて共通理解を行っております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者面談時等に助言や情報提供を行う場面もあります。	研修やペアレントトレーニングは令和8年2月現在に対応しておりませんが、今後ご希望に沿って対応していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約時やその他、説明が必要な場面で対応しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		事前にアセスメントを行い、意向を確認しております。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		ご契約時や個別支援計画書更新時期に個別支援計画書の内容を提示し、ご確認頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて面談や担当者会議などを通じ、適切な助言及び支援を行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		令和7年度は保護者参加型のイベントを実施し保護者同士の交流を行いました。また、令和8年3月には親子活動のイベントを企画しております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速かつ適切に対応ができるよう、心掛けております。 貴重なご意見に合わせて丁寧に対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月通信（お便り）を発行し、情報伝達に努めております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		情報漏れのないよう、ファイル管理やデータ管理の徹底を行っております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご家族様の家庭状況や状態に合わせて、丁寧に配慮しながら対応しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		令和8年2月現在は対応しておりませんが、企画ができる場合は地域との交流を図っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎年、事業所内会議を通じて振り返りも兼ねて情報共有をしています。 訓練では主に地震や火災を中心とし、訓練を行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定しており、定期的な訓練や情報共有を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご契約時に基本情報等を把握し、職員間での共有も行っております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのあるご利用者は、アレルギー検査結果の提出なども含めご家族に都度、確認しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、毎月計画に沿って確認および実施を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		令和8年2月時点では、安全計画について、十分に周知できていないため、今後検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		会議時に口頭及び書面で共有し、再発防止や危険予測の向上へ努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		弊社の虐待防止委員会が中心となり、委員会開催および研修の実施、セルフチェックシートの記入などを対応しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		個別支援計画書へ反映し、契約時や計画書更新時期にご署名を頂き、ご理解を頂いた上でご利用して頂いております。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ふあみさぼこ慈眼寺2号館					公表日	年月日 令和8年2月28日					
						利用児童数	38		回収数	27		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	7	1	2	狭い気がします	ご利用者の人数に応じて別室を使用するなど工夫して活動提供を行っております。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2	2	6	17:30までが短縮され17時までの事が多い	事業所都合により一定期間の間は17時から送迎開始としておりましたがR8.2月より通常通り17時30分送迎開始とさせて頂いております。大変ご不便をおかけいたしました。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	3		6		視覚支援の活用やご利用者が過ごしやすい環境を常時工夫しながら環境を整えております。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1		3		毎日の清掃に合わせて、ご利用者と一緒に掃除を行うことで気づきや発見へ繋がるよう支援をしております。				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	2		1	支援員以外の理学、作業療法士や言語療法士などの専門職をもっといれてほしい。	法人内の他事業所に所属している専門職員が定期的に事業所巡回し、ご利用者の発達状況の確認および支援方法の手立てを考案しております。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	2								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1								
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	2		1		5領域の目標に沿った計画および支援内容を個別支援計画書へ反映しております。				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	2								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	5		1	曜日での固定がみうけられるような気がします。ランダムにしてもらいたい	ご利用者が楽しんで様々な活動に参加できるように令和8年度より活動内容の見直しを行って参ります。				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	8	4	10		令和8年度より、就労支援事業所との関わりを行っていく予定です。				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	2								
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	1								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1		8		現時点では家族支援プログラムの提供を行っておりませんが、ご希望に合わせて検討して参ります。				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	2			子どもから聞いてびっくりする事がある 先生同士の情報共有がないと感じる事がある	ご心配をおかけし、申し訳ありませんでした。日々の情報共有を含め、今一度共有漏れのないように今後も努めて参ります。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	3		1		面談時や送迎時などを通じて、ご要望に合わせてご利用者の成長へ繋がるよう対応を行って参ります。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1		2		ご利用者の気持ちに寄り添いながら今後も丁寧に関わり、支援をして参ります。				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4	1	10		親子イベントの企画をさせて頂きました。交流の機会を今後も増やしていきけるよう対応して参ります。				
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2		2		相談等を受けた際には、迅速に丁寧に対応を行っておりますが、今後も不手際のないよう関わって参ります。				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2								
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	1		2		ホームページやアプリ等を通じて、随時発信をしております。				

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23			4	マニュアルに因りましては、事業所休館を行っておりますが保護者への周知などは至っていない為、必要に応じてご説明させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			7	年に2回の避難訓練（通報訓練含む）の実施をしております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23		1	3	目の前が交通の多い道路なので送迎の際が気になる 別事業所を通所していた際、送迎の車が傷ついたり、へこんだりしているのを見た。よくそういった事があったのに何も説明がなく、児童の送迎が心配だった。 車の乗り降りの際には、必ず職員が付き添い、安全に乗降できるよう努めています。ご利用者が乗車中に、車をこすってしまった場合等は、乗車していた保護者へご説明をさせて頂いております。安全に送迎運行できるよう、定期的な運転練習や交通安全講習等も計画していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	3		4	ご利用者の状況に合わせて迅速に対応および説明を行えるよう、真摯に対応を行って参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	1		1	お一人お一人に今後も丁寧に関わり、ご満足頂けるよう対応して参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	6		1	ご利用者の「楽しい」と思える活動を適宜提供できるよう工夫した支援を行って参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	6			職員異動がよくあるので安心しきれない部分もあります。 色々な職員が関わることで成長発達を促すことができるよう丁寧に今後も関わって参ります。ご不安をおかけすることのないよう対応して参ります。